



CSR Report

Corporate Social Responsibility

2022



三好不動産



【免許・登録番号・加入団体】宅地建物取引業者免許 登録番号 国土交通大臣(3)第7912号／賃貸住宅管理業者 登録番号 国土交通大臣(2)第003458号／第二種金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第35号／金融商品仲介業者 福岡財務支局長(金仲)第43号／(一社)九州不動産公正取引協議会 加入／(公社)福岡県宅地建物取引業者協会 加入

発行人／株式会社三好不動産 代表取締役社長 三好 修 編集・制作／株式会社三好不動産 社長室 広報課 〒810-0054 福岡市中央区今川1-1-1 TEL:092-725-5000(広報)

発行日／2022年6月

三好不動産

社会に貢献する 勤勉企業であるために

三好不動産は、経営理念に定める「社会に貢献する勤勉企業」の精神を実現していくため、経済的責任だけではなく、事業活動において社会や環境への責任を果たす努力をしてまいります。社員一人ひとりが、コンプライアンスと経営理念に沿って行動し、さまざまな活動を通じて地域に寄り添い、貢献できる企業であり続けたいと思っています。

※CSR:Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)

企業理念

| 社是
感謝・感激・感動 される会社になろう

経営理念

三好不動産は、不動産業界のモデル企業として、会社の発展と社員の幸せを実現するために、知識・技能・人格を修め、眞のプロ集団を目指し、社会に貢献する勤勉企業に挑みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



三好不動産

シンボルであるゾウのマークには「親から子へ信頼のおつきあい」という想いが込められています。このような時代だからこそ、家族のように想い、家族のように寄り添う「all for family」をビジョンに掲げ、みなさまに、なくてはならない企業だと評していただけることを目指して、80年企業へ、そして100年企業へ、前進してまいります。



ずっと住みたくなる地域社会

地域社会への支援



「車いす送迎車を贈ろう」キャンペーンに賛同し支援(2004年~2017年)

「車いす送迎車を贈ろう」キャンペーンは、西日本新聞創刊140周年を記念し九州各县の社会福祉施設に車いす送迎車を贈る活動として2002年から贈呈数100台に達した2017年まで行われたもので、当社はこの支援に2004年より賛同し20台の車いす送迎車を寄贈しました。



車いす送迎車の前に(2013年)



寄贈式の様子(2017年)



「ヒルトン・クリスマス・トレイン」のチャリティーに参加(2012年~)

毎年ホリデーシーズンに開催している「クリスマス・トレイン」はヒルトンが日本、韓国などで推進するCSR活動(企業の社会貢献活動)の一つで、ミニチュアのヨーロッパの冬景色の街に鉄道が走る巨大模型がヒルトン福岡シーサイドの館内に飾られるものです。これは、地元企業や団体からの支援によって開催されており、その支援金は児童養護施設「福岡子供の家」(福岡市早良区)に寄附されています。当社はこの活動に賛同し、2012年より参加しています。



ヒルトン福岡シーサイド館内に飾られたジオラマ。当社は気球にロゴをあしらいました。(2019年)



福岡市漁業協同組合が誇るブランド牡蠣「唐泊恵比須かき」を購入支援(2020年3月~)

2020年3月、新型コロナウイルス感染拡大を受け、福岡の冬の風物詩としてぎわう牡蠣小屋も影響を受けました。そこで、カキを食べて福岡を支援する「唐泊恵比須牡蠣の出張販売」を当社本社駐車場にて福岡市漁業協同組合のご協力のもと実施しました。また、この取り組みは福利厚生の一環で、従業員が牡蠣を購入した場合、会社から代金の半額を補助するというものです。2021年の出張販売では、従業員65名・総量約180キロの牡蠣を購入しました。



当社本社駐車場で行った唐泊恵比須牡蠣の出張販売(2021年3月)



博多祇園山笠の流(ながれ)に奉獻酒を寄贈(2010年~)

博多を代表する祭り「博多祇園山笠」は、その起源には諸説ありますが、1241年博多承天寺の開祖・聖一国師が疫病を鎮めるために人々が担ぐ施餓鬼棚に乗って甘露水(祈祷水)を博多の街にまいたことが始まりと言われており、毎年7月1日~7月15日まで行われます。本支援は、当社の創立60周年記念事業のひとつとして始めたのがきっかけで、この祭りの安全と末永くこの伝統が引き継がれていくよう祈念し、西、千代、恵比須、土居、大黒、東、中洲の7つの流(ながれ)と博多祇園山笠振興本部へ2010年より奉獻酒を寄贈させていただいています。



「タオル帽子を贈ろうキャンペーン」に賛同し支援(2018年~2019年)

「タオル帽子を贈ろうキャンペーン」は、がん患者支援に役立ててもらおうと、抗がん剤治療で脱毛した頭部を保護する「タオル帽子」を寄贈するもので、西日本新聞エリアセンター連合会が2016年に立ち上げました。当社はこの取り組みに賛同し2018年~2019年に支援。タオル帽子は福岡県内のボランティアグループ・個人が製作、その製作に必要なタオルと助成金を寄附させていただきました。これまで約30施設の病院に約1200個のタオル帽子を寄贈しました。



九州大学病院内で行われた贈呈式(2018年7月3日)



タオル帽子を製作するボランティアの皆さん



製作者からのメッセージも添えられています

ずっと住みたくなる地域社会



福岡市動物園の動物サポーターとして支援(2014年~)



当社のロゴマークがゾウという縁もあり、福岡市動物園にいたアジアゾウはな子(1971年~2017年)を中心に応援しようと動物サポーターとして支援を始めたのがきっかけです。福岡市に住む子どもたちに人気の福岡市動物園の支援を通して、動物や自然を身近に感じていただきたくお手伝いを、今後も継続してまいります。



園内憩いスペースにテントを寄贈(2014年)

はな子(アジアゾウ)運動場の土を耕す耕うん機を寄贈(2015年)

はな子(アジアゾウ)に特製のごはん箱を寄贈(2016年)



「飲食店応援プロジェクト」を立ち上げ、地元飲食店を支援(2020年5月)

緊急事態宣言発出に伴い、多くの飲食店が営業制限を強いられていました。そこで、私たちが少しでも力になればと、当社と関わりのある地元飲食店を利用し、弁当一括注文(社内でとりまとめ)や、テイクアウト(または店内飲食)をして支援をする「飲食店応援プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトは、会社から従業員一人あたり1回につき500円の補助金を支給、月に8回まで利用可能というものです、福利厚生の一環として実施しました。対象の飲食店は当社の各拠点があるエリアを中心に約156店で、2020年5月から2か月間に渡り約240万円分を利用しました。今後も、街の活性化の持続のために、地域とともに助け合い協力してまいります。



伝統の福岡屋台を支援(2020年4月)

2020年4月7日の緊急事態宣言(1回目)を受け、福岡伝統の屋台も例外なく営業自粛となりその日から灯りが消えました。その約2週間後の4月20日、福岡市移動飲食業組合の店主らが解除後の再開・継続を目指し資金を募るクラウドファンディング「SAVE THE YATAI」プロジェクトを立ち上げたことを知り、当社はこの活動に賛同し支援をしました。その後、福岡市移動飲食業組合と情報交換し、「福岡屋台37軒で使える食事券」を同組合の発行のもと、食事券のデザインはオリジナルで制作させていただき、グループ会社も含め1,000円の食事券を約1,600枚発行し組合へ当社より直接寄附をさせていただきました。この食事券を通じて福岡屋台へ足を運んでいただき、福岡伝統の文化を守り街づくりに繋がることを願い、皆様と共に応援してまいりたいと思います。



福岡市移動飲食業組合の打合せの場として三好不動産天神サロンのスペースを提供



三好不動産オリジナルの福岡屋台37軒で使えるお食事券(発行:福岡市移動飲食業組合)



屋台に掲げられた
オリジナルちょうちん

福岡屋台×三好不動産
コラボTシャツを寄贈

食事券と同じデザインのTシャツを約100枚制作し屋台37軒の従業員の皆様へ寄贈しました。



NPO法人いるかを通じ子どもたちへマスクを寄贈(2020年5月)

2020年5月、学童保育施設等を運営しているNPO法人いるか(福岡市西区上山門1丁目3-27)に、三好不動産グループの社員より寄附があったマスク約700枚を寄贈しました。新型コロナウィルス感染拡大に伴い、医療現場だけではなく、学童保育施設や介護施設でもマスクが不足している状況で、小学校や学童保育に通う子どもたちはマスクが手に入らず、キッチンペーパーで作ったマスクをつけて登校している子どもたちもいると知り、この度の寄贈となりました。今後も未来を担う子どもたちの支援となる活動を継続してまいります。

※NPO法人いるかは、子どもや高齢者、障がい者の福祉向上と地域社会の活性化につながる活動をしている団体です。



ずっと住みたくなる地域社会



地元小中学校へ消毒用アルコールを寄贈(2020年6月)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染予防のための消毒用アルコールが教育現場でも不足している状況を知り、当社とご縁のある地元の当仁小学校、梅林中学校、那珂中学校に寄贈いたしました。生徒の皆さんや先生方が安心して学校生活が送れるよう、今後もご要望に応じて支援してまいります。



「夢授業」の講師として招いていただいた梅林中学校へ消毒用アルコールを寄贈(2020.6.8)



交通安全の見守り隊等で活動を共にしている当仁小学校へ消毒用アルコールを寄贈(2020.6.9)



「生き方学習」の講師として招いていただいた那珂中学校へ消毒用アルコールを寄贈(2020.6.10)



福岡県「新型コロナウイルス感染防止宣言」実施店として各拠点にステッカーを掲示(2021年3月~)

福岡県が認定する「新型コロナウイルス感染防止宣言」実施店として、当社の20拠点にステッカーを掲示しています。お客様が安心してご利用できるよう感染防止対策に最大限努めてまいります。



スマイルプラザ九大学研都市駅前店
申請番号:CMBXmyxH-043476

平成24年九州北部豪雨の復興支援



福岡県豪雨災害義援金をお送りしました。
(2012年9月)

東日本大震災の復興支援



福岡記念病院 医療従事者の皆様へお弁当をお届け(2021年3月)

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、その治療や医療の確保、検査の対応にあたる医療従事者の皆様に感謝の意を込めてお弁当40食をお届けさせていただきました。



東日本大震災の被災地と、その影響を受けた関東在住のオーナーの皆様に支援物資を送付(2011年3月)

東日本大震災直後の2011年3月14日、被災地に、現地では手に入りにくいと言われていた毛布(100枚)、紙おむつ(350箱)、ペットボトルの水(600ケース)をお送りしました。また、東日本大震災の影響を受けた関東在住のオーナーの皆様にお米や乾電池、水などの日用品を中心にお送りました。



エール!FUKUOKA支援プロジェクトに参画(2020年4月~)



福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.)が立ち上げた、Afterコロナの世界が真に豊かであるために新しい価値を創造し輝かしい未来に向けて前進する人たちを応援するプロジェクト「エール!FUKUOKA」に賛同しています。本会員団体それぞれが「withコロナ」時代を克服するためのアイデアやソリューションを駆使し、新たな社会・経済のあり方を考え一丸となって実線する取り組みです。

※Fukuoka D.C.は、福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために成長戦略の策定から推進までを一貫して行う、産学官民一体のシンク&ドゥタンクです。

＼三好不動産エール!FUKUOKAアクション／

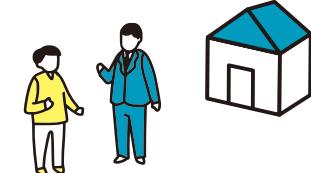
zoomでFridayOvation

飲食店応援プロジェクト

マイホーム購入者を応援する「感謝割」キャンペーンを実施

入居者を応援する「スマ特2020」キャンペーンを実施

NPO法人いるかへマスク寄贈

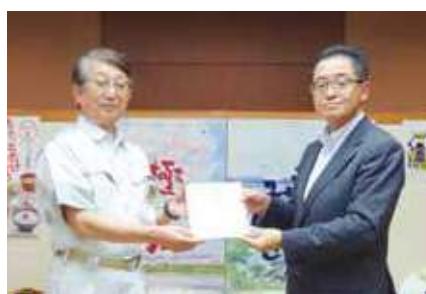


東日本大震災の被災地3県(福島県・宮城県・岩手県)に義捐金を寄附(2011年8月)

当社の管理オーナーの皆様はじめ各方面よりお預かりした義捐金を、福島県、宮城県、岩手県を訪問し直接お届けさせていただきました。



福島県に訪問し義捐金の目録をお渡しました



宮城県に訪問し義捐金の目録をお渡しました



岩手県に訪問し義捐金の目録をお渡しました

ずっと住みたくなる地域社会



「公益財団法人みちのく未来基金」へ寄附(2013年~2021年)

公益財団法人みちのく未来基金は、東日本大震災において被災し、両親またはどちらかの親を亡くされた子ども達の進学を支援するため、カゴメ(株)・カルビー(株)・ロート製薬(株)の3社が発起企業となり、2011年12月1日に設立されました。この基金は、返済不要の奨学基金で、入学金・授業料を全額支援、震災時に0歳だった子どもが大学院を卒業する頃までの少なくとも25年間は継続するというものです。「真に復興の礎となるのは、これから育つ次世代の若者たちである」というみちのく未来基金の趣旨に当社も賛同し、2013年から2021年までの9年間、支援いたしました。



寄附金の目録を贈呈(2013年 みちのく未来基金事務所にて)



「8期生の集い」参加した奨学生と企業サポーター(2019年3月7日)

みちのく未来基金 寄附受付終了のご報告

ご支援頂いた皆様への御礼

2013年より、オーナー様をはじめ皆様にご支援いただきました「公益財団法人みちのく未来基金」への寄附は、当基金からの申し入れもあり2021年で終了いたしました。

当社が、絶えることなくみちのくの子供たちへ支援をお届けできましたのは、ひとえにオーナーの皆様をはじめ、お一人おひとりの強く温かいお気持ちの賜物であり、ここに改めてお礼申し上げます。

『みちのく未来基金』への支援は終了しましたが、同基金は、震災時母親のお腹の中にいた子供が卒業するまで、今後も約15年にわたって活動を続けていきます。寄附終了後も、このような震災があったことを私たちの心にとどめ置き、風化させないようにしなければなりません。基金の活動は、右記URLよりホームページ上で閲覧することができます。

ご参考 2013年から2021年までの9年間、オーナー様をはじめ皆様よりお預かりした寄附金総額は、21,523,459円となりました。ご協力ありがとうございました。

寄附終了の主な理由は、下記の3点です。

- 『みちのく未来基金』が2021年2月20日をもって新規の寄附受付を終了したこと。
- 震災から10年という節目で目標とする奨学金の給付予定額約44億円到達したこと。
- 震災時に母親のお腹の中いた子も含め約1,400名の震災遺児の就学支援の目途が立ったこと。



「みちのく未来基金」でも検索可能

平成28年熊本地震の復興支援



「熊本文化財復興支援金」へ寄附 (2015年12月)

熊本地震の影響で熊本城が大きな被害を受けました。熊本城は熊本の象徴であり、築城400年余りの長い歴史をもつ重要な文化財です。永きに渡り守り続けるために役立てていただければ、熊本城の復旧・復興の支援金を寄附させていただきました。



提供:熊本城総合事務所「五階屋根の取り外し前(熊本市役所14階より2018.1.19撮影)」



熊本地震の被害に遭われた被災者の方々に当社管理物件の空き室を無償提供 (2016年4月)

熊本地震の被害に遭われた被災者の方々へ、福岡都市圏及びその近郊にある当社管理物件の空き室を無償提供させていただきました。



熊本地震直後に熊本県・ 大分県在住のオーナーの 皆様へ支援物資を送付 (2016年4月)

熊本地震の影響を受けた熊本県・大分県在住のオーナーの皆様へ、ペットボトルの水や缶詰、レトルトカレーなど食料品、マスク・軍手・ウェットティッシュ・紙皿などの日用品をお届けしました。



平成30年7月豪雨(西日本豪雨)災害支援



平成30年7月豪雨(西日本豪雨)災害支援(2018年7~8月)

- 平成30年7月豪雨で特に被害の大きかった地域にお住まいのオーナーの皆様へ、飲料水や保存食など物資をお送りさせていただきました。
- 平成30年7月豪雨の影響を受けた岡山県の不動産会社(全国賃貸住宅経営者協会連合会会員)より要請を受け、岡山県のみなし仮設賃貸借契約など契約手続き事務業務を現地に赴きお手伝いさせていただきました。



ずっと住みたくなる地域社会

募金活動

チャリティーウォーク「スマイルプラザGOGOハイク」を開催 (2006年~)

当社創立55周年記念行事の一環としてスタートしたGOGOハイクは、舞鶴公園を出発し海の中道を折り返し、当社本社にゴールする40kmを歩くナイトウォーキングイベントです。2006年より毎年開催している本イベントは、東日本大震災(2011年)をきっかけに参加費の一部やチェックポイントに募金箱を設置するなどチャリティーとしての目的も添えています。お寄せいただいた義捐金は、災害復興をはじめその時々の社会への貢献に役立てていただけるよう、寄附をしています。

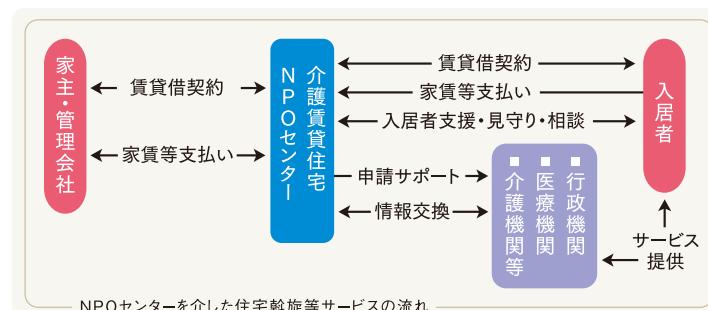


GOGOハイク開会式の様子(2018年)

高齢化社会への対応

特定非営利活動法人 介護賃貸住宅NPOセンター設立 (2001年2月)

(特非)介護賃貸住宅NPOセンターは、身寄りがない・高齢であるなどの理由で、一般的の賃貸住宅へ入居できない高齢者の方に、空室で悩む不動産オーナーとの間にたち入居を支援することを目的として設立しました。安否確認等見守りのサポートとして、乳製品を定期的に配達するといった条件もサポートの一環としています。



NPOセンターの前で利用者の方々と(2012年)



11

子ども食堂「サンsun♪」を開設(2017年) (熊本県合志市)

熊本県合志市で介護事業を展開するグループ会社(株)サンコーライフサポートが運営するサービス付き高齢者向け住宅「スリースマイル秋桜」内に「子ども食堂サンsun♪」を開設しました。子ども食堂サンsun♪の特徴は、地域のコミュニティスペースとしてはもちろんのこと、スリースマイル秋桜の入居者の方やデイサービスの利用者など、多世代の方々との交流を図れる場としての役割も果たしています。子ども食堂を利用する子どもたちには、専用窓で食材に使う野菜の収穫や、食事の配膳の手伝いなども体験でき、そこから人の役に立つことの大切さや食事をいただけることの喜びを感じてもらえるような場も設けています。また、親御様には、時には家の手を休めて欲しいという思いもあり、親子連れやお友達同士で気軽に利用できる食堂として、地域の皆様の居場所になることを目指しています。



特例子会社「ぞうさんのはな」設立(2013年10月)

三好不動産とグループ会社の(株)サンコーライフサポートは、2013年10月、障がい者雇用を目的とする特例子会社「ぞうさんのはな」を熊本県合志市に設立し、高齢者世帯等を対象にした弁当の調理・宅配事業を行っています。弁当は昼食・夕食分を届け、必ず手渡しするため「地域の見守り」としての役割も担っています。本事業は、2013年8月に「合志市まちづくり事業提案制度」の認定を受けました。



「ぞうさんのはな」開所式(2013年10月)



「ぞうさんのはな」のスタッフ 写真提供:熊本日日新聞社(2013年10月)



「ぞうさんのはな」のスタッフ(2021年6月)

特例子会社とは

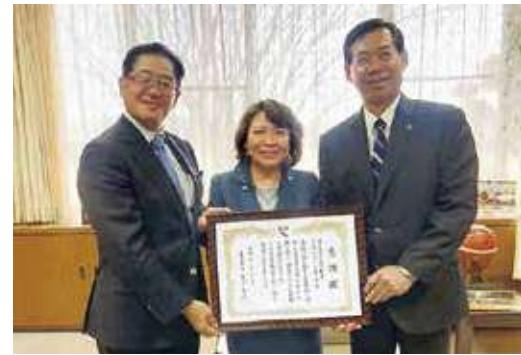
「障害者の雇用の促進等に関する法律」で定められ、障がい者の雇用に特に配慮して、企業の中に雇用率制度の特例措置として設立される子会社のことです。この子会社は一定の要件を満たしている場合、その子会社に雇用されている労働者も親会社に雇用されているものとみなされ、親会社の障がい者雇用率に算入されます。

ずっと住みたくなる地域社会



熊本県合志市企業型ふるさと納税に寄附(2018年~2019年)

熊本県合志市が取り組む地方創生プロジェクトに賛同し、同市の企業版ふるさと納税に寄附をしました。企業版ふるさと納税とは、正式名称を「地方創生応援税制」といい、自治体が実施する「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に企業が寄附をすることです。当社のグループ会社で介護事業・保育事業・障がい者雇用・総合支援事業等を行う(株)サンコーライフサポートが熊本県合志市を拠点に展開しているご縁もあり、この度の支援となりました。



右:熊本県合志市荒木義行市長



熊本県合志市と福祉事業を中心とした連携協定を結ぶ(2020年6月)

熊本県合志市と当社は2020年に高齢者や障がい者、子育て世帯などが暮らしやすい住環境の実現を目指す連携協定を締結しました。当社のグループ会社(株)サンコーライフサポートが介護事業・保育事業・障がい者雇用・総合支援事業等を同市で展開していることもあり、熊本県合志市における福祉や空き家など様々な問題を包括的にサポートするものです。合志市は「健康幸福都市合志市」を掲げ、この連携協定をきっかけに、行政、民間、市民が連携し独自のネットワーク「合志モデル」の構築を目指しています。



左:熊本県合志市荒木義行市長



熊本北合志警察署と「高齢者の見守り活動に関する協定」を締結(2020年7月)

2020年7月29日、当社グループ会社の(株)サンコーライフサポート(熊本県合志市)が熊本北合志警察署と「高齢者の見守り活動に関する協定」を締結しました。本協定は(株)三好不動産と(株)サンコーライフサポートが設立した、特例子会社(株)ぞうさんのはなが行う高齢者世帯等への生活支援事業のひとつ弁当宅配サービスにおいて、高齢者見守り・安否確認・犯罪防止等の手助けになっていることが認められたことによるものです。



福岡県指定居住支援法人の登録

■三好不動産(2018年10月) ■介護賃貸住宅NPOセンター(2019年9月)

2017年10月25日に施行された住宅セーフティネット法の改正に伴い、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として登録された住宅(セーフティネット住宅)の入居者への家賃債務保証、住宅に係る情報提供・相談、生活相談・支援などをを行う法人を、都道府県が指定できるようになりました。福岡県においても、住宅確保要配慮者の居住の安定確保を図るために、居住支援法人の指定を行っており、三好不動産は2018年10月に、介護賃貸住宅NPOセンターは2019年9月に居住支援法人に認定されました。今後も福岡県居住支援協議会と情報共有などの連携に努め、住宅セーフティネットの充実を図ってまいります。



企業主導型保育園 「ぞうさんのはな保育園」を 熊本県合志市に開園 (2018年9月)



企業主導型保育園「ぞうさんのはな保育園」を2018年9月、熊本県合志市に開園しました。働くお父さん・お母さんが安心して預けられる保育園を目指し、「幼老共生」を柱に地域の方々にも利用できる「街づくりをする保育園」を目指しています。



英語教師による英会話レッスン(0歳児から年長児)

ぞうさんのはな保育園ならではの取り組み

幼老共生

近隣の関連施設(元気な家ひまわり・スリースマイル秋桜)の高齢者の方や近隣の方とのふれあいを大切にしています。交流を行う事で、互いに豊かな関係を持つことができます。



英語保育

安心できる環境の中で週2回、0歳児から年長児まで英語講師による英会話レッスンがあります。歌ったり、制作をしたり、絵本を見たり、自然な形で英語に慣れ親しんでいます。



自園調理

管理栄養士による栄養バランスのよい献立を元に自園調理室にて、栄養士・調理師が毎日の給食・おやつを提供しています。



心音セラピー

NLP認定資格取得セラピストによる母と子の心音セラピーを行っています。お母さんの心音がお子さんとの絆をより深くします。



ずっと住みたくなる地域社会

一般社団法人
合志市居住支援協議会発足(2020年10月)
当社グループ会社(株)サンコーライフサポートが
構成団体として活動開始

2020年10月に合志市居住支援協議会が発足し、合志市・株こうしみらい研究所・合志市社会福祉協議会・(株)サンコーライフサポートが構成団体として、「住まい」や「住まい方」の課題に対し、関係機関や企業と連携して解決に向け取り組んでいます。

合志市
居住支援
協議会とは

居住支援協議会は低所得者・高齢者・障がい者・子育て世帯・被災者など住宅の確保に特に配慮を要するもの(住宅確保要配慮者)が民間賃貸住宅に円滑に入居できるように推進する組織です。合志市居住支援協議会は「住まい」「住まい方」の課題解決について、関係機関、連携企業と進めており、(株)サンコーライフサポートはその構成団体です。



「合志市居住支援協議会設立総会」(2020年11月5日)

主な
居住支援
サービス

- ①見守り(安否確認)
- ②金銭・財産管理(後見制度)
- ③死後事務委任
- ④家財処理・遺品整理
- ⑤家賃債務保証 など

地域の交流スペース(合志市居住支援協議会サテライト拠点) 「みんなの居場所」を熊本県合志市に開所(2021年4月)

合志市居住支援協議会(熊本県)がサテライト拠点として熊本県合志市須恵に「みんなの居場所」をオープンしました。セミナーや交流スペースとして活用するほか、住まいや相続などの相談窓口も設置、地域の子どもたちや高齢者の見守り、そして多くの世代が集える場として地域に根付いていくことを目指してまいります。



「みんなの居場所」外観(2021年4月)



椅子ヨガで地域交流(2021年4月)



室内の様子(2021年4月)

放課後児童健全育成事業 合志市立楓の森小学校学童 「ぞうさんクラブ」開校(2021年3月)

当社グループ会社の(株)サンコーライフサポートは、熊本県合志市に小学校学童「ぞうさんクラブ」を開校しました。「ここに帰ってくるのが楽しみ」と思ってもらえるような居心地良い環境整備を目指し、地域との連携により、日本の文化、歴史、季節感を感じ学べる機会を創出します。ぞうさんクラブの特徴として、英会話やジュニアヨガ、新聞アートといった活動や、合志マンガミュージアムから寄贈された800冊のマンガを読めるまんが室の活用や、手作りおやつの提供といったものがあります。



「ぞうさんクラブ」の特色ある活動 /

英会話

ジュニアヨガ

新聞アート

まんが室の活用
(マンガミュージアムより800冊の寄贈)

手作りおやつの提供



社会福祉法人三幸を熊本県合志市に設立(2021年9月)

当社グループ会社の(株)サンコーライフサポートが、障害福祉サービス事業を行うことを目的に社会福祉法人三幸(熊本県合志市)を設立しました。多様な福祉サービスがその利用者が個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援してまいります。

熊本県合志市に就労継続支援A型事業所 「YORISOI(よろい)」開所(2021年12月)

障がいのある方が一般企業で働くことを目指す就労支援施設「YORISOI(よろい)」を2021年熊本県合志市に開所しました。本施設は、当社の関連会社(株)サンコーライフサポートが設立した社会福祉法人三幸が運営します。サンコーライフサポートは2013年同市に障がい者雇用を目的とする特例子会社「ぞうさんのはな」を設立、高齢者世帯等を対象に弁当の調理・宅配事業等を行う中、ここで働く方の中に一般就労に向け段階的なサポートが必要な方もいたことから「就労継続支援A型事業所YORISOI」の開設となりました。一般企業で働くことを目指す全世代の障がいのある方が、必要なスキルを身につけるだけではなく、分からぬことや不安なことを相談できるのも大きな特徴の一つです。ひとりひとりの目標に寄り添い、活躍できるよう実習や職業探しを通して適正な職場への就労につながるようサポートしてまいります。

対象となる方

- 18歳以上65歳未満(原則)の障害者手帳をお持ちの方
- 自立支援医療制度をご利用中の方
- 定期通院をされている方

YORISOIでの主な仕事

高齢者施設の食堂、食品製造、事務作業、農作業・加工、食品や農産物の販売、賃貸住宅や施設の清掃、マンガ本の仕分け、他。



ずっと住みたくなる地域社会

ひぎんSDGs私募債発行記念品贈呈式(2021年12月) (場所:熊本県ひのくに高等支援学校)

当社は、2021年9月に「ひぎんSDGs私募債」を発行しました。その0.2%相当額分をSDGsの主要課題である未来を担う子ども達の教育支援の観点から、「熊本県ひのくに高等支援学校」を寄付先に指定し書籍を寄贈しました。その寄贈式が2021年12月21日に当校でとり行われました。書籍は、ひのくに高等支援学校の生徒の皆さんや先生方から要望をいただいた新刊や専門図書など128冊です。図書室に話題の新しい本が入ったことで、読書を楽しむ生徒の皆さんが増えたそうです。今後も当社は、事業活動を通じて豊かな社会づくりに貢献してまいります。

※ひぎんSDGs私募債は、私募債を発行した企業が指定する団体や学校に対して、肥後銀行が寄附を行い、地域の企業と銀行が一体となって熊本の持続可能な社会づくりに貢献することを目的としています。

熊本県 ひのくに高等支援 学校の特色

熊本県ひのくに高等支援学校は平成13年4月開校。校舎は県産材をふんだんに使用しユニバーサルデザインをとっています。また、敷地内には遠隔地から通う生徒のために寄宿舎を併設しています。中学校を卒業し、日常生活を営むのに一部援助が必要な程度の知的障がいを有する生徒を対象とした高等部単独の特別支援学校です。修業年限は3年です。



ひぎんSDGs私募債発行記念品贈呈式(2021年12月)



寄贈した図書が並ぶ図書室



寄贈した図書が並ぶ図書室



先生方から要望のあった専門性向上のための図書を寄贈(資料室)



熊本県ひのくに支援高等学校外観



熊本県ひのくに支援高等学校エントランス



体育館



講堂のステージは体育館と校庭の間に設置されています



教室

卒業後の社会自立・職業自立を目指した専門学科(作業学習)



材料取り、部品加工、組み立て、塗装などの工程による木工製品制作の実習を行う教室



キーホルダー、名刺入れなどの皮革製品制作の実習を行う教室



ワイシャツ、毛布、運動靴などのクリーニング実習を行う教室



成形、仕上げ、素焼き、絵付け、本焼きなどの工程による陶器の製作実習を行う教室



福岡県警察と福岡県宅地建物取引業協会が締結

飲酒運転撲滅

「DV・ストーカー被害者等への住宅情報提供に関する協定」に協力(2018年~)

夫婦間や恋人などによるDV(ドメスティック・バイオレンス 家庭内暴力)やストーカー問題は年々事態が深刻化しています。被害者は、加害者との接触を避けるためにホテルや知人宅への一時的な避難を余儀なくされています。そのような状況にいる被害者が警察に相談し、早急な避難を希望する場合、県警が同協会に空き部屋を照会、同協会は居住地や家賃など希望を聞いた上で物件情報を提示します。当社はその物件情報を同協会に提供しています。



飲酒運転撲滅宣言に賛同(2018年~)

2018年1月より福岡県が掲げる「飲酒運転撲滅宣言企業」として登録。飲酒運転の撲滅を宣言し、その対策に取り組んでいます。



ずっと住みたくなる地域社会

地域社会との連携

野菜マルシェ開催 (天神サロン・(株)ビルドヒューマニー駐車場のスペースを提供)(2017年~)

福岡の農家の皆様を応援したいと、三井郡大刀洗町、八女郡広川町、福津市と連携して、三好不動産天神サロンのスペースを開放し、野菜の販売場所として提供。また、グループ会社の(株)ビルドヒューマニーでも駐車場スペースを提供し、JA筑紫と連携して野菜マルシェを定期的に開催しています。産地直送だからこそ新鮮で、スーパーあまり見かけないような珍しい野菜も並ぶことで、毎回多くの地域の皆様にお越しいただいています。



三好不動産天神サロンで開催している野菜マルシェ



ビルドヒューマニーの駐車場で開催している野菜マルシェ



(一財)100万人のクラシックライブに天神サロンのスペースを提供、「天神サロンクラシックコンサート」を開催(2018年~)

2018年より天神サロンで「100万人のクラシックライブ」を定期的に開催しています。100万人のクラシックライブとは、普段着で気軽に聴けるクラシックをコンセプトに、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる人の日常に音楽の感動を届けるため、若手演奏家による小さな演奏会を全国各地で開催しているもので、年間100万人の方々の参加を目標にホテルロビーや商店街、駅ナカ、高齢者施設、学習塾、お寺、カフェなど行く先々をライブ会場に開催、当社天神サロンでも、毎回、お子様からご年配の方まで多くの方に参加いただいております。



ふれあい文化祭in大当仁バザーに参加(2020年11月)

2020年11月3日、当仁小学校で開催された当仁校区自治協議会主催「ふれあい文化祭in大当仁」のバザーに当社も参加しました。今後も地元企業として、イベント等を通じて地域の皆様との交流を図ってまいります。



馬頭観音夏祭りに合わせ本社駐車場で縁日を開催

当社本社の向かいに鎮座する馬頭観音様の夏祭りが毎年8月23、24日に開かれます。この夏祭りに合わせて、当社本社1階駐車場にお手製の「こどもゲーム会場」をつくり、地域の子どもたちを中心に、皆様に参加いただいている。地元地域で行われる様々な行事に積極的に参加し、地域の皆様と親睦を深めています。



黒門の馬頭観音様

黒田藩主御馬廻役であった梶原太夫は、自らの屋敷に馬頭観音の「祠堂」を立てました。その後、1783(天明3)年、黒田藩主から授かった馬が焼死するという事故が起き、その馬の靈を祭るために「祠堂」に参詣するようになりました。ところが、あまりに参詣する者が増えたため、町の人たちが屋敷から現在の場所に移し、御堂の世話を引き継ぎました。



安心・安全なまちづくりのための防犯パトロールや見守り活動に参加(2020年1月~)

「中央区犯罪の起きにくい街づくりの総合対策(NCC:No!CrimeinChuo)」・「福岡中部法人会」に参加し、防犯パトロール等の活動を行っています。また、2020年1月よりNCCの活動の一環で、小学生など子どもたちが安全に通学できるように、通学路の見守り活動「見守り隊」に毎週参加しています。



ずっと住みたくなる地域社会

スマイルプラザ九州大学前店のスペースを 大学と地域をつなぐ「元岡オープンサロン」へ提供(2020年10月~)

九州大学の学生や地域住民が自由に利用できる場として、スマイルプラザ九州大学前店のスペースを「元岡オープンサロン」へ提供しています。元岡オープンサロンとは、九州大学の学生や教職員、地域にお住まいの方達の「交流の場づくり」として、交流を促す様々なイベントの実施や九州大学や地域の様々な情報届けるなど実証事業として取り組んでいます。運営は九州大学の学生を中心に、学生や社会人、地域住民などが協力して行っています。無料で利用できるスペースとして、元岡オープンサロンが利用者を募り、セミナーや教室、サークル活動、地域の活動の場として活用されています。



元岡オープンサロン企画・運営団体

公益財団法人 九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)、(株)三好不動産、九州大学まちづくりサークルiTOP、ふくおか共創プロジェクト、九州大学キャンパス計画室、(株)よかネット

九大学研都市駅前店が 福岡市「子ども見守り基地局」設置に協力(2019年10月~)

福岡市と九州電力(株)が協働で開始した「IoTを活用した子ども見守り事業」に協力しています。これは、見守り端末を持った小学生が、通学路の分岐点となるポイントに設置されている見守り基地局を通ると位置情報が記録され、迷子や事件等の際に警察棟にその位置情報を提供するもので、この見守り端末の固定基地局として、九大学研都市駅前店の店内に端末が設置されています。



○見守り基地設置場所:九大学研都市駅前店 ○校区:福岡市西区 西都小学校

安心・安全なまちづくりを目指し「南当仁小学校区 挨拶見守り隊」に参加 (グループ会社:(株)ビルドヒューマニー)(2019年~)

当社グループ会社(株)ビルドヒューマニーは2019年より南当仁小学校区挨拶見守り隊に参加しています。南当仁小学校区挨拶見守り隊は、児童が安全に登校できるよう主に南当仁小学校区の信号のない横断歩道や細い道など通学路に立って(朝7時30分から8時10分頃まで)サポートをしているボランティアの会です。2015年に4名で発足した本会は2021年には33名まで増え、PTAからお揃いのベスト・キャップを、自治協議会からはポロシャツの寄贈をいただき、着用しています。会のモットーは「ゆるゆるボランティア」。できる時にできる人ができる事をやりましょうと、立てない日は声を掛け合って自然とお互いの配置を助け合えるほど、地域の方とも良い関係作りができております。今後とも地域の方と連携して、安全・安心な街づくりに努めてまいります。



南当仁小学校の5、6年生の児童が中心となり、地域の方へお礼の気持ちを伝えたいとの発案で実施されました。
代表の子ども達からのスピーチと高学年児童全員からの手書きのメッセージが贈られました。

南当仁小学校区挨拶見守り隊の方への
お礼の会の様子(2021.7.6)

献血の協力

輸血が必要な患者さんが安心して輸血を受けられるよう、献血に協力しています。



当社本社3階にて受付と健康チェック(2021年6月8日) 当社本社1階駐車場に日本赤十字社の献血車が待機(2021年6月8日)

受付後、献血車内にて献血(2021年6月8日)

赤い羽根共同募金に協力

社会福祉法人福岡県共同募金会を通じて、
赤い羽根共同募金に協力しています。



ずっと住みたくなる地域社会

「こども&レディス110番の店」活動に協力

犯罪等に遭遇したこと
もや女性が逃げ込む
「こども&レディス110
番の店」にスマイルプ
ラザ事業部の各店舗
が協力しています。



AED(自動体外式除細動器)の設置

AED(自動体外式除細動器)の設置を本社エントランス等に設置及び福岡市のAEDマップへの情報も公開し、社員やお客様、地域の皆様の万が一に備えています。



子育て世帯応援企画 子どもの数だけ家賃減額「キッズ割」(2018年5月~)

賃貸借契約をした子育て世帯に、子どもの数だけ家賃を減額する(1人当たり1,000円 ※最大3,000円)「キッズ割」を実施。「キッズ割」はお母さんのお腹に赤ちゃんがいる時から中学校卒業までが対象で、当社の子育て世帯応援企画の一環として取り組んでいます。



地域花火大会開催翌日の清掃活動に参加(~2018年)

西日本大濠花火大会や周船寺花火大会、東区花火大会など地域で開催している花火大会において、開催日翌日の清掃活動に参加。



「地域のまち・絆づくり応援企業」として福岡市より感謝状を授与されました(2016年)

「地域のまち・絆づくり応援企業」として福岡市より感謝状を授与されました。これは、福岡市が2016年より開始した制度で、自治協議会、自治会・町内会などが行なうまちづくりに、特に貢献する活動を行なっている企業や商店街、事業者などに感謝状を贈呈するものです。この度の感謝状授与に関しては、自治協議会の推薦によるもので、主に、当社が取り組んだ以下の地域活動が持続可能な地域コミュニティづくりに貢献したと認められたものです。



- 当社ソフトボールチームの当仁校区地域リーグ出場。 ■当仁校区夏祭りの運営。
- 当仁校区餅つき大会の運営に参加。 ■地域小中学校のトイレ清掃の実施(~2016年) ■西日本大濠花火大会の清掃活動(~2018年)

三好不動産オリジナルの マタニティマークキーホルダーを無料配布(2018年~)

妊娠さんや赤ちゃんに寄り添った優しい環境づくりを応援したいと、当社ロゴマークの親子ゾウをあしらったマタニティマークキーホルダーを作成し当社の各拠点で無料配布しています。マタニティマークは、おなかの目立たない妊娠初期でも周囲の人に妊娠を知らせ、優しい配慮を促すものとして2006年に厚生労働省が作成したものです。マタニティマークを身につけてお母さんを見かけたら、そっと優しい思いやりをお願いします。



三好不動産オリジナル マタニティマークキーホルダー

当社本社周辺の花壇づくり活動

当社本社がある中央区唐人町の通り沿いの花壇づくりを行っています。花壇には、「花と緑の街づくりを応援しています」のメッセージとともに、花言葉も添えています。少しでも皆様の心の癒しになってもらえるよう、美しいまちづくりを目指します。



ずっと住みたくなる地域社会

LGBTの「住」に関するあらゆる悩みをサポート



LGBTの住まいに関するサポートを開始(2016年~)

「本当は同性の恋人同士で部屋を借りたいのに1人で借りると偽ってしまった」「身分証と外見を比べて、変な顔をされないか不安」など、LGBT等の同性カップルの方が賃貸住宅を借りる際に様々な壁がある実情を知り、その解決するための力になりたいと思い取り組みを始めました。当社は、「すべての人に快適な住環境の提供」の基本姿勢のもと、これまでにも高齢者や外国人、生活保護者の方、DVで困っている方、災害時の住宅提供など様々なニーズにいちはやくお応えしてきました。LGBTの方の住まいに関する思いは変わりません。取り組み当初は、スマイルプラザ博多駅前店をLGBT対応店舗としてレインボーバッジを掲げておりましたが、社内勉強会など重ねていきながら、2019年には全拠点にレインボーマークを掲示しました。併せて、全社員の名刺にレインボーマークの配置やレインボーバッジの着用、社内のデスクや応接室・会議室にはレインボーフラッグを設置など、LGBTフレンダーであることや、その理解を示す姿勢を社内外に示しています。



レインボーシールを配布
全社員がレインボーバッジを着用



◆2017年ゴールド受賞 ◆2018年ゴールド受賞 ◆2019年シルバー受賞 ◆2020年シルバー受賞 ◆2021年ゴールド受賞

LGBTライフプランセミナーを開催 (主催:三好不動産、後援:福岡市)(2019年~)

LGBTのお部屋探しを取り組んでいく中で、「賃貸と購入の違いを知りたい」、「パートナーと不動産を購入したいけどハードルが高そう」など購入を検討したいけど、どうしたら良いかわからないといった声を多くいただきました。そうした声にお応えするため、不動産を観点にしたLGBTの方対象のライフプランセミナーを2019年より開催しています。不動産購入だけに限らず、生命保険や財産分与、公正証書等手続きのポイントなどについて紹介するセミナーです。これまで延べ約180名の方に参加いただきました(2021年4月現在)。法律や制度における難しさもありますが、今でもできることがあることを知ることができるセミナーです。



第1回LGBTライフプランセミナー(2019.11.16)



九州レインボープライドに参加(2016年~)

LGBTなどの性的少数者が生きやすい社会を目指す啓発イベント「九州レインボープライド」に2016年より参加しています。2019年は社員約130名がパレードに参加、また会場に賃貸・売買・生命保険・相続などの無料相談のブースを出展し、多くの方々にお立ち寄りいただきました。



九州レインボープライド2019に社員130名でパレードに参加(博多区冷泉公園)



九州レインボープライド2019に参加



九州レインボープライド2020本編配信番組に出演



九州レインボープライド2021「三好不動産ちゃんねるライブ配信」



九州レインボープライド2021
プライドハウス東京レガシーとコラボ座談会



九州レインボープライド2021
追手門学院大学葛西リサゼミとコラボ座談会



厚生労働省ホームページ

「職場におけるダイバーシティ推進事業について」の、
多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集
～性的マイノリティに関する取組事例～(令和元年度)(令和2年度)の
企業事例集に三好不動産が紹介されました(2019年、2020年)

厚生労働省が行う職場におけるダイバーシティ推進事業の「多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集～性的マイノリティに関する取組事例～」の中で、当社のLGBTの取り組みが紹介されました。

当調査に関しまして、当社はヒアリングに協力しており、下記頁に紹介されています。

- 「多様な人勢が活躍できる職場環境に関する企業の事例集～性的マイノリティに関する取組事例～」の本文
[事例16(P26)、事例20(P28)、事例39(P36)]
- 「令和元年度 厚生労働省委託事業 職場におけるダイバーシティ推進事業報告書」
[参考資料(P199~P202)]

ずっと住みたくなる地域社会



- 一般社団法人アースプロジェクト福岡を設立(2016年11月)
- 休眠預金を活用した学生中心のボランティア活動の企画及び運営開始(2021年11月~)

当社の関連法人アースプロジェクト福岡は、学生ボランティア団体「フクオカアースエイド」を運営し、被災地復旧・復興のために頑張る現地NPO等の団体と連携して、学生ボランティアの派遣活動を行っています。学生はこのボランティア活動に参加することで、災害ボランティアを経験し、防災減災意識を早い段階から取得でき、この経験が、就職活動時の「学生時代に力を入れたこと」として活かすことができます。また、学生ボランティアをインターンシッププログラムとして検討する企業や自社のスキルのある人材のプロボノ派遣等でSDGsを実践・協働いただける企業の募集も行っています。

災害支援ボランティアにおいては休眠預金を活用した活動を行っています

休眠預金を活用した事業概要

- ボランティア活動の企画及び運営。主に学生を募集し被災地派遣支援や地域の清掃活動等を実施。また、学生の経済状況を鑑み、交通費支給の有償ボランティアを災害地域で実施。
- 災害の実情や災害を事前に防ぐことの大切さを学ぶ場として、有識者を招いての勉強会やワークショップを開催。
- 企業への展開、既に賛同している企業の継続と新規開拓を図る(企業と学生との協同)。
- 各種団体への協力・災害復興を実行している団体に賛同。また、本助成事業に認定を受けた「熊本マンガミュージアムプロジェクト」やその他認定団体へボランティア学生の派遣。

活動実績

※2022年3月7日現在

2月25日、2月28日(学生限定)

オンライン災害ボランティアセミナー開催

(講師:特定非営利活動法人YNF代表理事 江崎 太郎 氏 テーマ:「災害の課題とボランティア」)

2月18日、2月21日、2月23日(熊本学生限定)

熊本県復興有償ボランティア

(活動内容:廃校となった大津町 旧矢護川小に展示する漫画仕分け・運搬作業)



12月19日(熊本学生限定)

熊本県坂本町被災地支援ボランティア活動

(活動内容:解体家屋の古材でフォトフレーム作り)



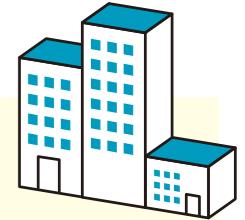
11月27日・28日(学生限定)

久留米市被災地支援ボランティア活動

(活動内容:床上浸水したお宅の床を剥がす作業他、清掃等)



休眠預金等活用とは



「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等(休眠預金等)を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始

まりました。同法に定める指定活用団体として2018年7月に一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が設立されました。

この休眠預金は、社会的な課題解決のための公益活動を行うNPOなどの事業資金として助成されるものです。

支援活動の多くは、主にNPOがさまざまな工夫を凝らして行っており、助成する資金の原資として休眠預金を活用しています。SDGsとの親和性も高く「誰ひとり取り残さない持続可能な社会づくり」に貢献しています。

子ども及び若者の支援に係る活動

- 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
- 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援

日常生活または社会生活を営む上で困難を有する者の支援に関する活動

- 働くことが困難な人への支援
- 孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援
- 女性の経済的自立への支援

地域社会における活力の低下

その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に関する活動

- 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
- 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援



引用 一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)HP



宇美町町制施行100周年記念事業に協賛(2020年12月)

三好不動産の創業者である三好茂一は1949年宇美町に質店を創業しました。その2年後の1951年に同じく宇美町に株式会社三好商店を創立、1967年に株式会社三好不動産に改称をしました。三好不動産の前身は質店からのはじまりで、宇美町は三好不動産とゆかりの深い町として当社の歴史とともに刻まれています。その宇美町町制施行100周年記念事業に協賛いたしました。



宇美町町制施行100周年記念品

ずっと住みたくなる地域社会



日頃の感謝の気持ちを込めて管理物件約2,000棟の清掃を実施
(2020年11月)

2020年11月5日、管理させていただいている一棟ものを中心に約2,000棟の清掃を、1年目の社員から社長まで総勢389名(124チーム)で実施しました。これは、オーナー様と入居者様へ日頃の感謝の気持ちと、物件の維持管理、そして、普段管理物件に赴くことのない社員にも物件の知識を得て業務に活かすという目的で、全店休業し実施しました。この取り組みは、当社の70周年事業プロジェクトの一環で行いましたが、今後も、継続して行ってまいります。



物件の状況を確認しながら
エントランス、駐輪場・
ゴミ置き場などの
共用部の清掃を行いました。



次の世代に遺したい世界

国際社会への取り組み

矢野孝介メモリアル



CMCボップイ三好小学校を建立
(カンボジアバッタンバン州)(2017年)

2017年11月、当社と協力会社のニッポンインシュア(株)は「一般社団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)」主導のもと、カンボジアバッタンバン州の郊外ボップイ村に「CMCボップイ三好小学校」を建立しました。これは、三好不動産グループが2007年から協力している「カンボジア地雷撤去キャンペーン」の一環で、地雷原跡地の老朽化した小学校の建て替えを支援したものです。また、本小学校の建立については、ニッポンインシュア(株)の前社長で三好不動産グループの発展に寄与した、

故矢野孝介のメモリアルとして、社会貢献活動に積極的に取り組んでいた故人の意志を尊重し、その業績の一部を建立資金としても支援しております。小学校の門柱には「KOSUKE YANO MEMORIAL」と刻まれており、子どもたちを見守っています。また、2018年からCMCが主催する現地スタディツアーに三好不動産グループの社員も参加しています。



「MIYOSHI」とネームの入った制服



鉄棒を寄贈(2019年)



CMCボップイ三好小学校



スタディツアーに参加した社員と現地の子どもたち(2019年)



シーソーを寄贈(2019年)



ブランコを寄贈(2019年)

2017年11月3日
竣工記念式典が行われました



式典でお礼の歌を披露する生徒たち
中央は州副知事
2017年11月3日、現地で竣工記念式典が行われ盛大な歓迎を受けました。式典にはカンボジアバッタンバン州副知事や教育長他来賓も多数出席。副知事より「国家建設功労第一勲章」の授与がありました。

次の世代に遺したい世界



カンボジア 地雷撤去活動への寄付

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン主催「地雷被害者救済チャリティー野球観戦」に毎年参加、観戦チケット代金の一部を地雷撤去活動及び地雷被害者の支援に役立てていただいているです。



CMC代表大谷賢二様へ寄付金をお渡しました



カンボジアの小学校校舎復旧工事への寄付(2020年7月)

2020年7月2日、CMC代表大谷賢二様へカンボジアにある「CMCボップイ三好小学校」の復旧工事の寄付金をお渡しました。5月初旬に突然の竜巻により校舎の瓦屋根が飛ばされ、大きく穴が開き、看板とポールが折れる等の災害に見舞われました。ちょうど日本と同じように、カンボジアでもコロナ禍で学校が休みだったため、児童に怪我はありませんでしたが、学校の授業を再開するにあたり、校舎の復旧が必要となり、今回の寄付に至りました。募金は当社とグループ会社社員からの寄付によるものです。当社はこれからもCMCボップイ三好小学校の支援活動を継続してまいります。



CMC代表大谷賢二様へ寄付金をお渡しました(2020年7月)



フィリピンの子どもたちに服を 贈るプロジェクトに賛同(2019年~)

NPO法人国際教育推進協議会が主導となって取り組む「フィリピンの子供たちに服を贈るプロジェクト」に2019年より賛同しています。これは、企業・NPO・教育機関の共同プロジェクトで、衣類を必要とするフィリピンの子供たちに、不要になった子供服を贈るリユース活動です。今後も積極的に支援してまいります。



奨学金制度の支援



福岡アジア留学生里親奨学金事業に賛同し支援(2014年7月~)

福岡県と福岡県国際交流センターが1999年に創設した「福岡アジア留学生里親奨学金事業」に当社は2014年より賛同し支援をしています。この事業は、里親(企業・団体・個人等)の善意の寄付で運営され、福岡県で就学しているアジア地域からの留学生を対象に、留学生の安定した生活基盤を確立することはもとより、里親と留学生が直接交流を深めて頂くことができるところが特徴の一つです。



福岡アジア留学生里親奨学金交付式の様子(2017年)



福岡アジア留学生里親奨学金交付式の様子(2020年)



三好不動産の学生育英支援 給付型奨学金制度 「ゾウさんの贈りもの」を創設(2017年~)

将来を背負って立つ若者を支援することは、社会にとって大変重要なことです。「ゾウさんの贈りもの」は、当社が未来ある若者を応援するために2017年に立ち上げた、一人当たり月額2万円、年間24万円を給付する返済不要の給付型奨学金制度です。応募にあたっては「学校生活と私の将来像」をテーマに作文を提出していただいています。2021年においては、看護師や助産婦、社会福祉士、保健士など医療・福祉の分野を目指す学生が多く「ケガや病気で苦しんでいる人たちの支えになりたい」「一人ひとりの心に寄り添いサポートしたい」といった思いが作文に込められていました。

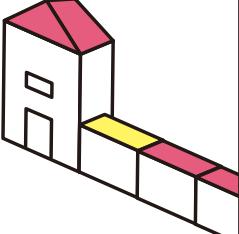


三期生授与式の様子



二期生と三期生の記念撮影

当社施設の開放やイベント等を通して、当社の社員との交流も深めていかなければと思っていました。「困った時は相談において」と親代わりのような支援として育てています。



次の世代に遺したい世界



福岡大学夜間学部商学部第二部に通う学生向け奨学金を寄付(2018年~)

福岡大学が2018年に夜間学部の商学部第二部に通う学生向けに奨学金を創設し、2019年度の新入生からを対象に、定員の8分の1にあたる入試の成績上位20人に奨学金を給付。当社は未来ある学生を応援するため、その奨学金の一部を寄付させていただきました。

产学連携



国公立大受験生へ九州大学前学生寮の貸室を無償宿泊提供(2017年~)

2017年2月25、26日に行われた国公立大学前期試験日が、大きなコンサートや国家試験日と重なり、福岡市内を中心に宿泊施設が確保されない受験生が続出しているという報道がありました。当社はこの状況を知り、力になれないかと、受験生とその保護者に、当社所有・運営の学生マンション「九州大学前学生寮」の貸室24室を無償提供させていただきました。この年の支援がきっかけとなり、学生応援プロジェクトの一環としてその後も継続して宿泊提供をしています。



九州大学前学生寮

入寮生である現役の九大生たちは、普段、食堂など共用スペースでは会話も多く賑やかな雰囲気ですが、試験日前日から当日は誰からともなく気を配り、仲間で集まるのは控えたそうです。このように現役九大生の先輩たちも、自身の受験の時を思い出して、そっと見守ることでバックアップしてくれていました。

九州大学前学生寮

学生寮を利用した受験生の親御様より温かいメッセージをいただきました

2020年2月

何より何より快適な部屋とても清潔でありがとうございました。
下宿も窓から見えないので、前日、部屋の強めの匂いがしていました。
これまで無償宿泊、併せて朝晩の食事提供等ありがとうございました。
心より御礼と感謝申し上げます。本校より博多駅近くにナチュラルヒリ平野駅
すみじ3号徒歩数分で駅舎会場まで行く事が出来ました。部屋にはメッセージ
の有り、マスクやカバンなど御用意の部屋に早く成功して下さい。最後になりましたが、
お忙しい中での成績に喜んでいました。



中学生の職場体験学習の受け入れ

中学校や各種団体より要請を受け、子どもたちに仕事に触れる機会を提供することを目的に中学生の職場体験を受け入れています。



九州産業大学の学生とリノベーションで連携(2011年~)

2011年より九州産業大学工学部住居インテリア設計学科の学生とリノベーションに取り組んでいます。学生が室内のデザインを手掛け、実践的な勉強の一環として無報酬で設計を担当しています。これまで10例以上を完工、若い世代の発想で部屋づくりが実現しています。



九州産業大学の学生がデザインしたリノベーション



九州大学の寄付型クラウドファンディング 「九大椎木講堂に世界的アーティスト河口洋一郎氏作品を展示したい」を支援(2019年9月)

2019年9月、九州大学が立ち上げた寄付型クラウドファンディング「九大椎木講堂に世界的アーティスト河口洋一郎氏作品を展示したい」に賛同し支援しました。このプロジェクトは、九州大学出身のサイエンスアーティスト河口洋一郎氏の作品を伊都キャンパス内に常設展示するというものです。常設展示をするためには、美術品の輸送や長期の展示に耐えうる特殊な展示に関する環境整備が必要となり、その資金を補うためプロジェクトが発足されました。最先端の芸術作品の展示によって、学生たちの感性と知性が刺激を受け、豊かな未来創造へ繋がることを期待しています。



河口洋一郎 宙魚Ficco(フィッコ)
(九州大学伊都キャンパス椎木講堂2階ホールにて常設展示)



京都女子大学「U・I・Jターン就職懇談会」の参加(2018年)

近年、大都市へ若者が集中し、同時に地方からの流出が問題視され、地域に若者が定着・還流するための取り組みが国全体の政策課題となっています。2018年、当社は福岡県への若者人材の還流を促進するために、「U・I・Jターン就職促進協定」を締結している京都女子大学の「座談会・業界研究会」に参加しました。



次の世代に遺したい世界



福岡市立那珂中学校の総合学習「生き方学習」に講師として参加(2019年~)

「生き方学習」は、那珂中学校の1年生を対象に行われるもので、この授業を通して、「学校で学ぶことと社会とのつながりや、職業に対する関心を深め、そして学んだことを伝える」ことを目的としているものです。



授業を受けた生徒の皆さんからいただいた感想文

(G)コース 企業名 株式会社三好不動産様
わたしの中社会人講話に来ていた大きさあり
がてつございました。鶴田先生がお話し
していた内容で大げなことでお驚きにまし
でくしてもうつちゃんといいべぐると言っていた
ところにやぱりアコの方は責任感が強くて命
をかけていたんだなと思いました。その他にもアコ
のしくみなども知りました。自分の世界が少し
広がったなと思いました。一度だけの出会いであれ
ないお客様とずっと一生のお付き合いができると
書いてと。でも素敵で暖かい職業だなと思いました
ました発表会時にハイタッチ。(ひたづ)
アンタッパさんが始めていつ意い人が分かづ
奈々をじて笑ってください。優しかったです
鶴田先生ありがとうございました。

(G)コース 企業名
今日は、忙しい中ありがとうございました。
三好不動産のCMを見た
ことがありますけど、見たことがないCMもあってとてもおもしろかったです。
従業員は471人らしいとてもびっくりしました。不動産は勉強しないと分からぬいところがあったのですが、そこ勉強になりました。
挑戦すること、たとえ手くいかなくてやる。やらないと後悔は引き立ちません。
成功失敗の経験が大いに成長になることが分かりました。この経験が成長
に繋がります。鶴田先生ありがとうございました。



福岡市立梅林中学校の総合学習「夢授業」に講師として参加(2020年~)

「夢授業」は梅林中学校の1年生を対象に行われるもので、この授業を通して、「自分の生き方を考え主体的に進路を選択することができるようになること」などを目的としているものです。授業内容は、社会に出る年代を想定し、「わたしの住みたいお部屋を選ぼう!」をテーマにどのエリアにどのような広さや間取りの部屋に住むのか、暮らすための費用や税金などお金について等を一人一人が考えグループワークを通して発表していくものです。



福岡市立筑紫丘中学校 総合学習「社会人講話」に 講師として参加(2021年10月)

社会人講話は、筑紫丘中学校の1学年143名が対象で、社会人の職業観や人生観にふれることで、学ぶことや将来とのつながりなど自分の生き方を探求する機会として行っているものです。授業では、「私の住みたいお部屋を選ぼう!～新社会人 初めての一人暮らし編～」をテーマに、社会人1年生の設定で、勤務先の立地やお給料、生活費はどれくらいかかるのかなどを考えながら、グループで話し合い、希望の部屋を選ぶというワークをしていただきました。この授業を通して、計画を立てる習慣を身につけることの大切さに気付くきっかけになればと思っています。



オンラインインターンシップを 開催(2020年8月~)

従来開催していた現場体験型インターンシップに加え、2020年8月よりオンライン型のインターンシップを新たに開始しました。例えば、賃貸営業については、これまで社員に同行するなど会社側の視点で体験していたものから、学生の皆さん方がお客様の立場になって実際にオンラインでお部屋探しをする体験をしていただきました。今後は、実際の職場での体験型とオンラインの両方の形式で開催してまいります。このインターンシップを通して、学生の皆さんのが描く人生のビジョンの確認や課題などを考えるきっかけになれればと思います。私たちも参加する学生の皆さんとともに過ごすことで、気づきや新しい発見ができれば良いなと思っています。



インターンシップの受け入れ (2004年~)

インターンシップの受け入れは、これから的人生設計を考える学生の方々に、就労体験の場をつくるという社会貢献活動として位置づけています。ここ数年は、外国人留学生の参加も増えています。インターンシップを受け入れることで、職場の活性化といった相乗効果もあり、新しい見識を得る機会となっています。



福岡県立城南高等学校 フィールドスタディの受け入れ (2020年12月)

2020年12月11日、現役の高校生に実際に企業にきてもらい職場体験や会社見学を経験してもらう「フィールドスタディ」の受け入れを実施しました。これはフィールドスタディを積極的に取り組んでいる城南高等学校からの依頼で当社が協力したものです。当社は福岡に本社を置く企業として、今後も地域の高校生に自分が住んでいる地域にどのような企業があり、どのような課題と向き合っているかを学んでもらう機会を作り、将来の地元就職を促進するお手伝いをしていきたいと思います。



働きやすい職場環境

行政の取り組みの参画

WE Project 女性の大活躍推進福岡県会議登録(2016年~2020年) ふくおか女性活躍NEXT企業に認定(2018年~)

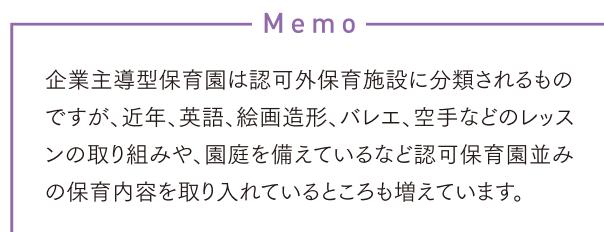
日本では急激な少子高齢化時代に突入し、人材の確保が重要な要素となっています。日本そして九州の女性の社会進出は他の国と比べて大幅に遅れています。そのため遅れている女性人材の育成と活用がこれまで以上に求められてきました。そこで当社は、女性の活躍を推進することによって、企業の総合力の向上および地域経済の活性化を図るとともに、男女ともに働きやすく、生きやすい社会づくりに取り組んでいます。

(尚、女性の大活躍推進福岡会議は、2020年5月30日をもって、廃止となりました。)



企業主導型保育園との業務連携契約(2018年~)

お子様がいる社員の育児支援として企業主導型保育園との業務連携契約を2018年より進めています。企業主導型保育園とは、提携を結んだ企業の従業員のお子様を優先的に預けることができる保育施設、現在は6つの保育園と契約を結んでいます。今後も、必要に応じて、複数の企業主導型保育園と積極的に契約を締結してまいります。



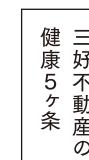
「#PowerNap ~昼寝で健康チャージ~」を導入(2019年~)

当社は働き方改革の一環として、福岡市が推進する「#PowerNap」プロジェクトを導入しました。睡眠を生活の大切な「チャージ」と捉え、15~30分程度の昼寝(Power Nap)を推進します。睡眠をとることでパフォーマンス力を上げ、業務の効率化、社員の健康促進を図ることを目的としています。



「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」に登録(2020年~)

当社は、社員がやりがいと誇りを持ち、心身ともに健全であることが重要な要素と考え、健康5ヶ条を掲げ社員の健康づくりを推進することを宣言し、これを福岡県の制度「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」に登録しました。健康経営とは「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを意味しています。従業員の健康管理者は経営者であり、その指導力の下、健康管理を組織戦略に則って展開することがこれからの企業経営にとってますます重要になっていくものと考えられます。



- 第1条 定期健康診断の受診率100%を徹底します。
- 第2条 がん検診などの任意検診の受診を促進します。
- 第3条 朝礼時に全従業員スクワットを100回行います。
- 第4条 就業時間内は禁煙します。
- 第5条 イベントやサークル活動を通じて、「心とカラダの健康」を大切にし、社員の活力と生産性の向上を追求します。



福岡県「出会い系応援団体」に登録(2018年~)

当社は2018年より少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化に対する取り組みとして、福岡県が実施する「出会い系応援団体」に登録。結婚お祝い金の支給を受けることができます。



「健康経営優良法人2020、2021」に認定(2020年~)

当社は健康経営の考えに賛同し、従業員の定期健診の実施、オプション検査の費用補助、ストレスチェックの実施、健康をテーマとした情報発信、業務時間の短縮、病気治療と仕事の両立支援、スポーツサークルの活動支援、予防接種の費用補助、就業時間内の禁煙、職場へ加湿器・除菌剤の設置など、さまざまな取り組みを行っています。これらの取り組みが認められ、経済産業省が選出する「健康経営優良法人2020」「健康経営優良法人2021」に認定されました。従業員およびその家族、お客様および取引先業者様、そして地域社会のために、従業員一人ひとりの「心とカラダの健康」を大切にし、これからも質の高いサービスをお客様に提供できるよう、健康経営に関する取り組みを継続いたします。



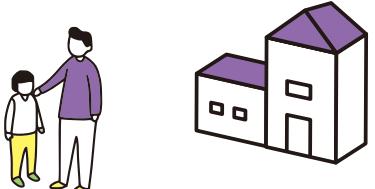
働きやすい職場環境

働き方改革の取り組み

ストレス・疲労度チェックの実施(2016年1月~)

当社は毎年1回「心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)」を社員に対し実施しています。個々人のストレスへの気付きを促し、メンタル不調者の発生を未然に防ぎ、各自のストレス値を部署・部門ごとに集計・分析することで、仕事の質と量に見合った人員配置や職場環境の改善、長時間労働などを是正し、働きやすい職場づくりを目指します。

※対象は総合職社員、一般職社員、嘱託社員、契約社員、出向者(有期契約社員を除く)。



子育て応援制度 第3子出産は祝い金 10万円を支給(2017年~)

2017年より企業として少子化問題に取り組み、出産・育児を支援する「子育て応援制度」を設けました。これは総合職を対象に、第3子出産は10万円の祝い金を支給するものです。

一般社員対象奨学金返還の負担軽減制度を実施(2017年~)

入社間もない新卒従業員が学生時代に給付を受けた貸与型奨学金の返還義務を遂行できないといった社会問題が表面化しています。当社はそうした現状を打破したいという想いと、「三好不動産の存立基盤は人財にあり」というスローガンに則り、学生時に奨学金の給付を受けていた比較的の社歴が浅い社員に対し、返還の負担を軽減する制度を2017年10月より実施しています。

※対象は総合職社員、一般職社員、嘱託社員、契約社員、出向者(有期契約社員を除く)。

【制度の概要】

- ① 支給対象は、新卒で入社し、入社10年末満の総合職社員であること(入社10年になったタイミングで給付終了)
- ② 貸与型の奨学金であること
- ③ 支給金額は毎月の返還額の50%で、2万円が上限

アニバーサリー休暇制度を導入 (2019年~)

2019年より社員の心身のリフレッシュによる活性化および家族への慰労、社員の自己啓発の場の提供を目的として、1年間で2日間の休暇取得をする「アニバーサリー休暇制度」を導入。この制度は特別休暇の付与であり、日常生活および勤務に活力をもって臨むことができるようになります。

※対象は総合職社員、一般職社員、嘱託社員、契約社員、出向者(有期契約社員を除く)。

インターバル制度を導入(2019年1月~)

当社は2019年1月より健康管理の一環としてインターバル制度を導入しました。インターバル制度とは、残業時間を含む終業時間から次の始業時間まで一定時間を空けるよう会社で規制することを言います(「勤務間インターバル規制」ともいう)。勤務終了後、一定時間以上の休息時間を設けることで働く人の生活時間や睡眠時間を確保するものです。これは、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら健康に働き続けることができるようになると考えられており、当社はインターバル時間を11時間としています。今後も引き続き従業員一人ひとりが活き活きと働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みをすすめてまいります。



育児短時間勤務制度等の拡充(2020年4月~)

当社は2020年4月より、育児短時間勤務制度などの内容を一部変更し、対象範囲を「中学校1年生の始期に達するまで」に拡充しました。これは、働きやすい職場環境づくりを目指す取り組みの一つで、子育て中の社員の柔軟で安心な働き方の実現を目指しています。

	三好不動産の規定		法律上の規定
	変更前	変更後	
1.短時間勤務制度	4年生の始期に達するまで	中学校1年生の始期に達するまで	3歳未満
2.時間外労働時間			3歳未満
3.子の看護休暇			小学校入学前



育児介護休業規程の一部変更(2020年12月~)

当社は2020年12月より、従業員が安心して育児や介護ができる環境にするため、育児介護休業規程を一部変更しました。

子の看護休暇を、半日単位から時間単位で取得することが可能

介護休暇は、半日単位から時間単位で取得することが可能



同性等パートナーに対して、配偶者と同等の社内規定・福利厚生制度の適用を拡充(2020年10月~)

2020年10月より、当社は福岡県や福岡市のパートナーシップ宣言の認定もしくは各自治体の同様の認定を受けた社員に対し、配偶者として適用範囲の拡充を行っています。これにより、同性等パートナーをもつ社員及びそのパートナーを対象とした、家族手当(社内規定)、結婚祝金(福利厚生)、本人弔慰金(福利厚生)、家族弔慰金(福利厚生)の適用を受けることができます。当社は、今後も多様性を尊重し合い、社員一人ひとりが成長、活躍することができる働きやすい職場の環境を実現し、多様な人財が活躍できる環境整備を推進してまいります。

適用される社内規定及び福利厚生

家族手当
(社内規定)

結婚祝金
(福利厚生)

本人弔慰金
(福利厚生)

家族弔慰金
(福利厚生)



次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画(2021年4月~)

次世代の社会を担う子どもが育成される環境の整備を図るため、次世代育成支援対策推進法に基づき、計画期間や目標、その他目標達成のための対策と実施時期を次のように策定します。

計画期間

2021年4月1日~
2023年3月31日までの2年間

内容

目標:若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会を提供する

対策 2021年4月~

●中高生に対する職場体験の受け入れを積極的に実施する

●大学生を対象としたインターンシップを積極的に実施する

働きやすい職場環境



女性活躍推進法に基づく行動計画(2021年4月~)

職場で働く女性が、個性と能力を十分に発揮できる環境を整備するため、女性活躍推進法に基づき、計画期間や目標、その他目標達成のための対策と実施時期を定め、活躍に関する状況について公表します。

計画期間	管理職に占める女性労働者の割合						
2021年4月1日~2023年3月31日までの2年間	18.8%						
内容	男女の平均勤続年数の差異						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合職</td> <td>9.70年</td> <td>9.93年</td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	総合職	9.70年	9.93年
	男性	女性					
総合職	9.70年	9.93年					

目標1: 管理職に占める女性の割合を20%以上にする

対策 2021年4月~

- 外部機関による管理職育成に適した研修の受講を促進する
- 短時間勤務制度・在宅勤務・テレワーク等による柔軟な働き方の実現

目標2: 総合職における女性の平均勤続年数を10年以上にする

対策 2021年4月~

- 年次有給休暇及びアニバーサリー休暇の取得を推進する
- 育児休業及び介護休業からの復職者に対し上司による面談を年2回実施する
- 短時間勤務制度・在宅勤務・テレワーク等による柔軟な働き方の実現

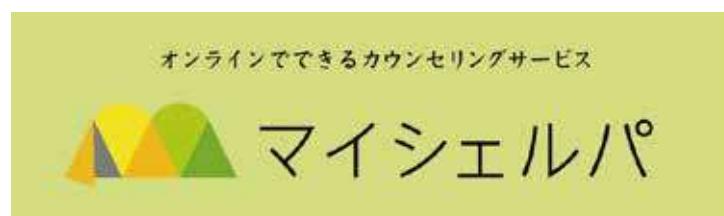
対策 2021年10月~

- ノー残業デーを導入し労働時間を削減する



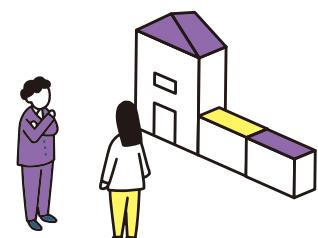
オンラインカウンセリング「マイシェルパ」を導入(2021年12月~)

コロナ渦における働き方や生活リズムも大きく変化し、メンタルヘルスの不調を訴える方が社会的に増加し、悩みの種類も多岐に渡っています。そこで、従業員のモチベーションや働きがい向上へのサポートになればと、心理の専門家に悩みをオンラインでいつでも相談できる「マイシェルパ」を導入しました。日々の業務の悩みから本格的なメンタルヘルス不調についてなど相談内容は問いません。自身についての悩みだけでなく、家族や子ども、課員に関する悩みでも相談が可能です。



マイシェルパとは

精神科医が運営するオンラインカウンセリングサービスで、相談はすべて臨床心理士または公認心理士が対応し、「いつでも」「どこからでも」「どのデバイスでも」気軽に様々な悩みに対してカウンセリングが受けられるものです。



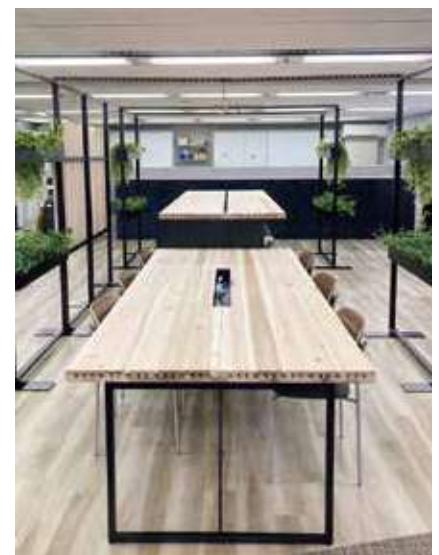
フリーアドレスを完備した天神とまり木オフィス「天神パーク」オープン(2021年5月)

2021年5月、天神本店の一部を改装して、フリーアドレスオフィス「天神パーク」をオープンしました。鳥たちが羽を休める木をモチーフに、従業員が気軽に立ち寄り、好きな場所で仕事ができる、多様な働き方を推奨していくためのオフィスです。従業員に新しい働き方を提供し、自由なコミュニケーションの活発化を促すことで、お客様、オーナー様へのより良いサービス提供に繋げてまいりたいと思います。

※天神パークは、2022年4月福岡証券ビル8階に移転しました。

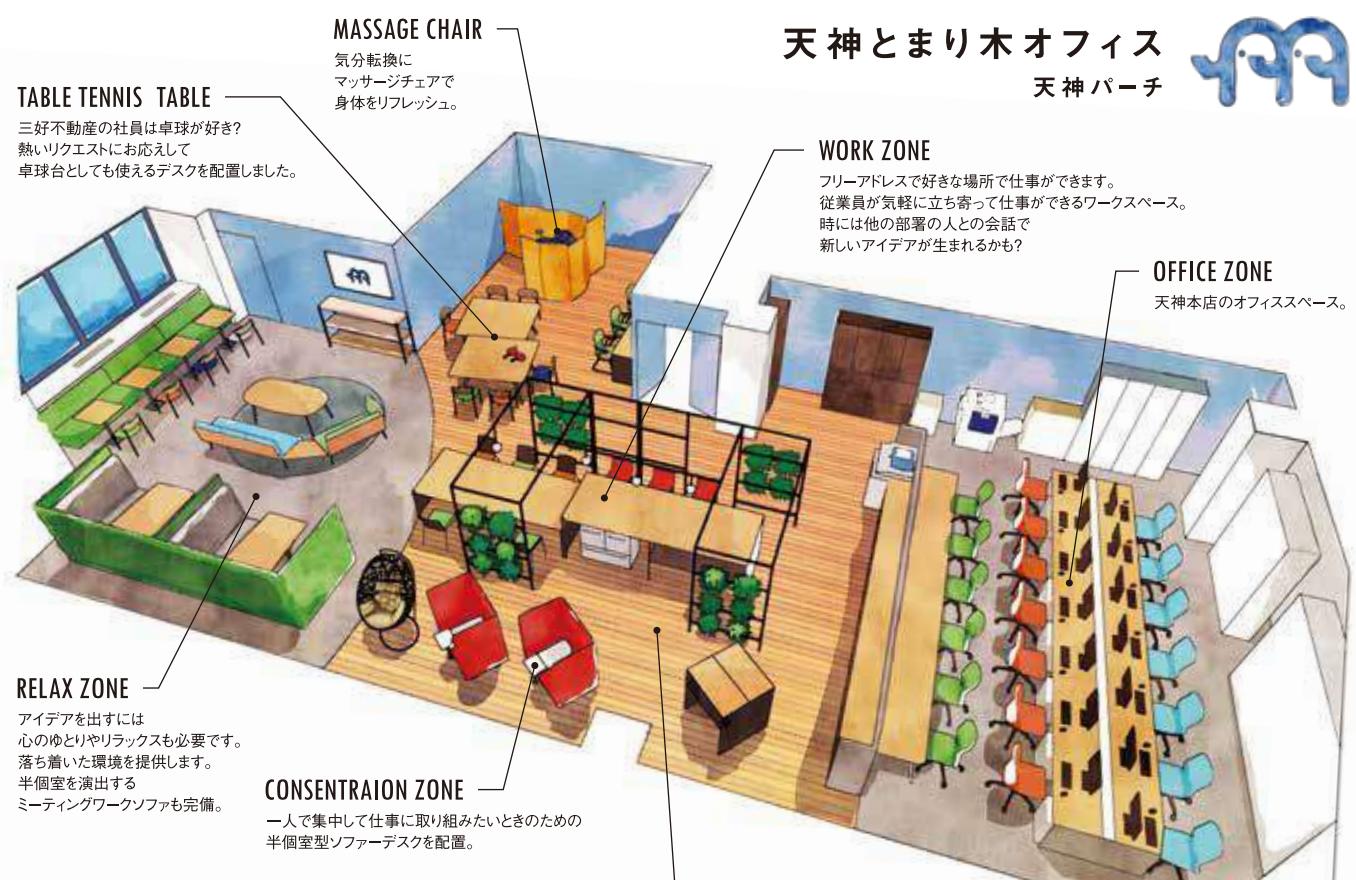


ミーティングソファも備えたリラックスした空間
一人で集中して仕事に取り組める半個室型ソファーデスクを配置



フリーアドレスで、従業員が気軽に立ち寄って仕事ができるワークスペース

天神とまり木オフィス 天神パーク



FREE ADDRESS

- 部署や部門間を超えた社内コミュニケーションの活性化
- 業務の効率化につながる
- 私物をデスク周りに置かないためオフィスが整理整頓されやすい
- 省スペース化(スペースコスト削減)
- 紙資料の電子化によるコスト削減
- テレワークとの相性が良い

TENJIN PERCH CONCEPT



※イメージ画像です。実際とは異なります。

ゴール8:「働きがいも 経済成長も」

フリーアドレスの導入をはじめ、様々なシーンに合わせて配置したソファやデスク、リラックス効果があると言われるグリーンの配置により、より良い職場環境を整え、従業員のモチベーション向上や働きやすい職場づくりに努めています。